

# 一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月12日から14日まで各委員会を開催し、令和6年度一般会計予算ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

## ふるさと基金積立金

**問** ふるさと基金積立金は今まで堅実に積み立ててきたと思うが、何か目的はあるのか。今後使うことになる場合、どのようなことが想定されるのかを伺う。

**答** 寄付者の意向に沿った事業の財源として積み立てており、毎年各事業に活用しています。今後は公共施設個別施設計画に基づく公共施設整備への充当も予定しています。財政状況を踏まえつつ、基本的には市の重要施策に有効活用していきたいと考えています。

## 市内路線バス

**問** 中型バスを2台購入するとあるが、乗客の人数やニーズに合わせた機能などの検討はどのように考えているのかを伺う。

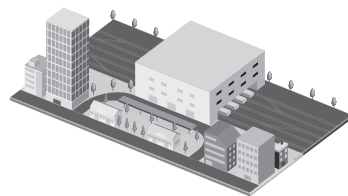
**答** 今回購入を予定している車両については、車椅子で乗り降りするためのスロープを脱着式でつけることが可能であったり、車椅子用のスペースとして一部座席が跳ね上げられ、車椅子を固定できるフックのようなものがついているなど、乗車人数や利用者のニーズも考慮して検討しています。



## 滝川駅周辺整備

**問** 基本計画策定の手順について伺う。

**答** 主に検討する内容は、大きく3点あり、機能の構成や規模、配置、動線といった整備計画に関する事、事業手法、スケジュール、概算事業費といった事業計画に関する事、施設の運用計画に関する事についてです。また、これらの事項を検討するにあたっては民間活力の導入可能性も探りながら、基本計画の策定を進めていきたいと考えています。



## 障害者福祉費

**問** 障害者福祉費が増額となっているが、障がい者自立支援を受けるニーズが増えているという認識で良いのかを伺う。

**答** 人口減少に伴い、障害者手帳の所持者は減少する傾向にありますが、知的障がいや発達障がい等によりサービスを必要とされる方は増加しています。障がいのある方が地域において自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、ニーズに対して支援していくため増額となっています。

## 民生委員

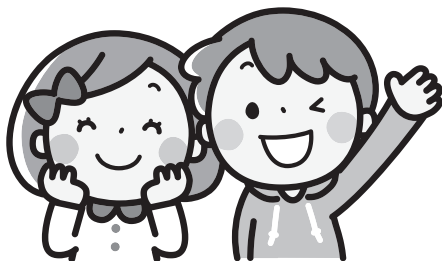
**問** 民生委員のなり手不足の問題に対しての対応は考えているのかを伺う。

**答** 令和7年度の次期改選を見据え、役員と協力体制を強化し、既存委員のより一層の定着化を図るほか、町内会等を通じた委員候補者の掘り起こしを強化するなど、従来よりも早期に着手し、なり手不足の解消に努めたいと考えています。

## 児童手当

**問** 児童手当の支給時期が年3回から年6回に変更となるが、何月に支払われるのかを伺う。

**答** 制度改正が令和6年10月にされ、12月から2か月ごとの支給となります。



## 地域子育て力強化事業

**問** 地域子育て力強化事業に関する具体的な内容について伺う。

**答** 従来から実施しているファミリーサポートセンターの事業、2人目以降のお子さん誕生時にご家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」、子育てに対して不安や孤独感を抱える家族などに対し、保健師等が指導・助言を行う養育支援訪問事業といった内容になっています。

## 空家等実態調査

**問** 空家等実態調査委託料について、具体的にどのような調査を行うのかを伺う。

**答** 具体的な調査内容については、調査リストを施行業者と調整をして作成した後、受注者が現地を訪問し、外観目視により空き家か否かの調査をします。それに併せ、空き家と思われる建物については、不良度判断を実施し、建物の状態を評価します。

## 医師減少

**問** 令和6年4月より医師の人数が減少すると聞いているが、具体的にどこの診療科で何人減るのかを伺う。

**答** 内科で2名、外科で1名、初期研修医1名の計4名減となっています。医師の減により診療や入院、救急対応などに影響が出る心配がありますが、市民の皆さんには可能な限りご心配やご不便をおかけしないよう対応を検討している状況です。

## 成年後見制度

**問** 成年後見制度利用支援事業に要する経費について、ここ数年増減が見られない。制度自体の需要がないということで理解して良いのかを伺う。

**答** 成年後見制度利用支援事業については、滝川市社会福祉協議会に委託しており、同協議会から提出された事業実施の見積りに合わせて予算を計上しています。

需要がないという判断はしていませんが、成年後見制度の普及活動を進めていく中で、広く市民の皆さんの声を汲み取りながら、ニーズに合った活動をしていく必要があると考えています。

# 予算審査特別委員会 における各会派討論



## ◎市民ネットワーク

歳入においては、大幅な減となったふるさと納税の今後の取り組みとして、安定した返礼品の開発に力を入れていただきたい。歳出においては、市民の財産を活用する事業を進めるにあたり、将来の財政不安や十分な市民意見が反映されているとは思えないことから、今後の進め方を十分に審議されることを望む。

介護保険特別会計では、核家族の進行・増加、介護する家族の高齢化など想定を上回るスピードで情勢が変化している。今後さらに厳しさに拍車がかかることも予想されるため、事業運用に努力いただくよう望む。

## ◎新政会

ふるさと納税額を挽回するため、引き続き首都圏でのPR活動はもちろん、滝川関係者及び団体・企業にもこまめにPRを実施されたい。駅周辺地区再生拠点整備基本計画策定は長年の市民要望であり、様々な意見を集約し、使いやすくコンパクトな低予算の計画策定を期待している。

病院事業会計では、市民の健康維持・増進が主たる役割であり、医師をはじめとする医療スタッフの充実は必須である。医師確保に向け医科大学医局など関係機関に対する継続的な働きかけを望む。

## ◎公明党

長期化する物価高騰で市民の生活は、まだまだ好転する兆しが見えない中、先を見据えての滝川駅周辺の再整備に着手するための基本計画・新小学校基本構想策定のための事業費、小・中学校空調設備設置のための工事費など、これらの計画では、市民意見が十分に反映され、将来に禍根を残さない計画にしていきたい。

私たちは滝川市の将来を、深く考えていく必要があるため、計画を進めるにあたって、財源確保のための弛まぬ努力を望む。

## ◎れいわ新選組

ふるさと基金28億8727万1千円の見込みについて、これまで、コツコツ積み立ててきた大切な財源であると思う。予定している公共施設個別施設計画に基づく公共施設整備の財源として有効活用していくとこのことで大変頼もしく感じる。市内経済を活性化するためにタイミングを見極めつつ、多くの市民のために積極的な活用を求めたい。

地方の街を発展・存続させるために外すことができない要が子育て支援であると認識している。計画の策定と合わせ、今後の子育て政策に対する積極財政とさらなる子育て環境の充実強化を期待する。

## ◎21フォーラム

介護現場はもとより様々なサービスを提供しなければならない現場が崩壊しようとしている。本予算においても市内バス路線の継続維持に向けた対策が語られ、農業環境の悪化や空き家対策の推進など、立ち止まることのできない課題が指摘されている。

このような困難な状況下において、市民の命と暮らしを守るため、令和6年度予算を適切に執行し、安心のまちづくりを市民に届けられるよう、職務に精励されることを強く要望する。

## ◎日本共産党

市は、財政運営の基本方針で市立病院の健全経営の継続を最重要事項と位置づけたが、滝川市立病院の軸足は公立病院として住民の命を守ることにある。医師をはじめ医療スタッフの確保は容易ではないが、住民が安心して受診できる質的・量的に充実した医療体制の構築に取り組んでいただきたい。

下水道事業会計についてだが、能登半島地震から2か月が経つが未だに上下水道の復旧ができず、断水が続く地域が残されている。下水道は人の生活に欠かせないインフラの一つであるため、継続的な維持保全に努めていただきたい。